

シリーズ「放課後子ども教室推進事業」
初中教育ニュース（初等中等教育局メールマガジン掲載）

【第64回】

わんフレ(わんぱくフレンドルーム)が合い言葉
～東曾野木小学校子どもふれあいスクール～

新潟県新潟市立東曾野木小学校
子どもふれあいスクール運営主任 矢久保 壽雄

「わんフレ」は、子どもたちが名づけた愛称。開催日には、廊下で会う児童から「今日わんフレ行くからね！」と、スタッフへ声が掛かる。やりがいを感じる瞬間だ！

子どもたちは、授業時間が終わるとどっと受付デスクに集まり受付を済ませます。宿題を済ますため机に向かう子、ボールを抱え体育館に走る子等、思い思いの遊びを求めて散っていく。落書きができる黒板には沢山の絵が描かれる。どれもこれも遊びを楽しむ喜びに満ちている。大縄やバスケット、ドッジボールでは、低学年高学年が仲良く声掛け合って興じている。

人気の遊びは、ものづくり。昔遊びに精通するスタッフが日を決めて風車・凧・箸のゴム鉄砲・ゴリゴリ風車・紙ヒコーキなどの作り方を指導。

「わんフレ」の開催は、月曜日・水曜日の放課後と土曜日の午前中の週3回。登録スタッフは、保護者や地域ボランティアで約30人。1回あたり5～7人のスタッフで見守りや遊びの相手をする。

土曜日には、バドミントン教室や編み物教室を行い、なかなか好評。

周年行事は、「インドアアスレチックと豚汁パーティー」。低学年～高学年の混合チームが輪投げや魚釣り、玉入れ等規定種目で合計得点を競い、保護者も含め楽しいひと時を過ごす。

花火大会、もちつき大会も人気行事。100人近い参加者で賑わう。

当校の「ふれあいスクール」は、平成14年新潟市教育委員会指導のもと学校・PTA・自治会代表、主任児童委員等で運営委員会を立ち上げ、9月にスタート。今年は10周年を迎える。校長先生・教頭先生のバックアップもあり、運営主任はじめ担当スタッフ一同心新たに取り組んでいる。

（初中教育ニュース（初等中等教育局メールマガジン）第208号に掲載）